

平成14年3月13日

各位

会社名：株式会社アルチザネットワークス
 代表者名：代表取締役社長 床次 隆志
 （コード番号：6778 東証マザーズ）
 問い合わせ先：取締役コーポレート・サポート部長 高橋 玄太
 （連絡先：042-529-3494）

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向などを踏まえ、平成13年9月11日に公表しました業績予想を下記の通り修正致します。

記

1. 通期業績予想の修正

平成14年7月期 通期業績予想の修正（平成13年8月1日～平成14年7月31日）（単位：百万円、%）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成13年9月11日 発表)	3,480	1,232	710
今回修正予想(B)	2,780	636	365
増減額(B-A)	700	596	345
増減率	20.1	51.6	51.4
前期(平成13年7月期)実績	2,872	1,161	605

2. 業績予想修正の理由

当社が関連する国内通信業界は、国内景気の低迷に加え、通信事業各社の業績悪化から大幅な設備投資抑制を行っており、大手通信機器メーカーも業績悪化する等、全般的に情報通信分野の研究開発及び設備に関わる事業環境は、厳しい状況が継続しております。現時点における事業セグメント別の動向に関しましては、以下のように考えております。

【プロトコルテストソリューション事業】

ATM シグナリング

主にNTTドコモの「FOMA」プロジェクトへの対応であるため、当期については比較的確かな推移が見込まれます。

TDM シグナリング

期首に見込んでいた以上の早いペースで既存携帯電話網向けの設備投資が減少しており、既存通信インフラ向けの需要見通しは不透明であります。また、既存製品を代替し、高成長を見込んでいたVoIP向けの需要動向は、市場の黎明期であるものの、期首に想定していたVoIP機器開発・導入のペースより緩慢な状況が継続しており、計画達成は予断を許さぬ状況であります。

IPテスト

通信事業者の設備投資抑制の動きにより、市場動向は低迷している状況であります。また、他社製品に関しましては、同様の理由により市場動向は不透明であります。

【ネットワーク・マネジメント・ソリューション事業】

通信事業者の設備投資抑制の動きにより、市場動向は低迷している状況であります。

以上の事業環境を勘案した結果、売上高が計画未達となる可能性は高く、採算性も悪化する可能性が高い見込みであり、売上高、利益ともに前回公表予想を下回る見通しとなることから、業績予想の修正を行うこととしました。

(注) 本業績予想は、現在入手可能な情報から、当社の経営者の判断に基づき作成しております。従いまして、本業績予想のみに全面的に依拠して投資判断を下すことは控えられるようお願い致します。また、実際の業績は様々な要因により本業績予想とは、異なる結果となり得ることをご承知おきください。

以上